

令和4年度(2022年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和4年(2022年)11月]

評価調書作成者 [河川課長 仲田裕一郎]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	山田川 広域河川改修事業
事業箇所	人吉市九日町～駒井田町
事業担当課(室)	土木部 河川課 (計画調査班 内線6136)
事業期間	令和4年度～令和15年度(12年間)
総事業費	1,756百万円(うち県費878百万円)
事業内容	延長0.5km、築堤、河道掘削、護岸工
事業目的	山田川は、人吉市内を流れ一級河川球磨川に合流する県管理の一級河川である。人吉市の中心部にあたる球磨川合流点付近は密集市街地となっているが、堤防形式がパラペット構造となっており、令和2年7月豪雨において破堤及び浸水被害が生じているなど治水安全度が低い状況にある。流域では紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業も進められており、改修により地域の人命、財産の保全を図ることを目的とする。

【現況写真】



【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 4.87
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行わない場合、3年に1度の割合で家屋136戸が床上浸水、47戸が床下浸水する。 ・生起確率3年の降雨に対する想定氾濫区域の検討と費用対効果の比較を行った。
パートナーシップ ユニバーサルデザイン への配慮事項・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河道内に土砂搬出に利用する維持管理用の小段通路を設けることとし、平常時には堤防から階段等で下りて誰もが安全に水辺空間での散策を楽しめるような配慮を行う。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	なし

【 周辺状況 】

関連事業	紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業(人吉市)
市町村、地元の状況	中心市街地復興まちづくり協議会によりまちづくり計画を計画中。
説明会の開催状況と関係者の意向	令和4年10月11日にまちづくり推進委員会において、事業の必要性等について説明を行い、意向を確認している。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	有
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。 〔 住家及び温泉宿泊施設が近くにあり、散策等に利用できる水辺空間の整備を行う。 〕	有


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	4
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④ 想定氾濫区域内の宅地状況	10	10
	⑤ 重要な公共施設等の有無	5	0
	⑥ 想定氾濫区域内の農耕地状況	5	0
	小計	25	10
緊急性	⑦ 平時の活動阻害	15	15
	⑧ 浸水被害の頻度	10	9
	⑨ 人的被害の有無	10	10
	⑩ 他事業関連(圃場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪ 交通に対する影響	5	5
	小計	45	44
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	20
	小計	20	20
合計		100	78